



K 中通 信

学校だより 7号
令和元年 9月20日
横浜市立軽井沢中学校

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

【学校教育目標】 『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます（知・徳・公）
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます（体・開）



釣鐘の うなるばかりに 野分（のわき）かな

夏目 漱石

校長 星野 久美子

野の草を吹き分けて通る秋の強い風のことを野分といい、主に台風のもたらす風をさします。『枕草子』には「野分の翌日はしみじみとした趣がある」と書かれていますが、被害を受けた方たちのことを思うと一刻も早い復旧を願うばかりです。

横浜市内で「警報」が発表された場合、各学校では児童生徒の安全を最優先した防災対策を講じ、児童生徒への指導、保護者への周知について十分な配慮を行う。（横浜市学校防災計画風水害対策編より）

児童生徒の措置（一部抜粋）

（1）登校前に「特別警報」「暴風警報」「大雪警報」「暴風雪警報」が発表された場合

ア 午前7時の段階で横浜市内に「特別警報」「暴風警報」「大雪警報」「暴風雪警報」が発表継続中の場合は、児童生徒の安全確保のため、全市一斉に「臨時に休業」の措置を講じる。

（2）登校前に「暴風警報」を伴わない「大雨警報」「洪水警報」が発表された場合

午前7時の段階で「暴風警報」を伴わない「大雨警報」「洪水警報」が発表継続中の場合は、各学校や地域の状況に応じて、学校長が適切な措置を講ずる。

【メール配信についての変更点】

- 台風15号が通過した9月9日については、午前7時の段階で「暴風警報」が発表継続中であったものの、その後急速に天気が回復したことから、20件を超える問い合わせの電話があり、10人を超える生徒が登校しています。これは全校生徒数の1割を超え、午前7時に警報が継続しているかどうかの確認が難しい家庭が増えていることを表しています。
- 計画運休による交通機関の混乱から、始業時間の8:30に通常交通手段で出勤できた職員は26名中5名（うち教員は4名）でした。このことから今回のような規模の計画運休が実施された場合、本校での職員の参集は、全体の1/5程度になることが予想されます。
- 今回の台風では停電となった地域がありました。停電となった場合、揚水ポンプが作動せず水道やトイレの使用はできなくなります。

以上のことから、生徒の安全を確保するために、学校が「適切な措置」を決定するとともに、その内容など正確な情報を迅速に伝達することが必要です。そのため、**登校前に横浜市内で警報が発表された場合の学校の対応について、メール配信を行うことに変更します。**しかしながら、メール配信は万能ではありません。実際、東北大震災ではサーバーがダウンしたり基地局が倒壊したため通信障害が起り、メールが届きませんでした。そのため、「震災」の場合はメール配信を行いませんので、4月に配布したお知らせを再度ご確認ください。

- 暴風等非常変災時に「家庭の判断」で休ませた場合、出欠の扱いは「出席停止・忌引等」に該当し、欠席扱いとはなりません。
- 4月以降、メールアドレスを変更した場合、再度登録の必要があります。学校までご連絡ください。
- メール配信未登録者に対しては、従来同様、電話連絡を行います。